

平成28年8月12日

報道関係者各位

学校法人 河合塾
国立大学法人 筑波大学河合塾と筑波大学がおくる高校生への「本を通した学問のススメ」
～『学問本オーサービジット』をWebにて公開開始～

河合塾と筑波大学人文社会系は、2015年より「学問本オーサービジット」という取り組みを実施しています。2015年11月～2016年2月に実施した、その模様を、河合塾が運営する高校生向けサイト「本と学問でひらく未来『みらいぶプラス』」(<http://www.milive-plus.net/>)にて、7月4日(月)より公開しました。中高生が、今まで触れることのなかった学問について本を読み、著者と語らうことで理解を深め、自らの未来と重ね合わせていく様子を、動画とともに順次、紹介していきます。

その第一回では、「18歳、選挙に行こう！みんなで社会を作ろう！」という特集として、政治学に関する『イデオロギー』(東京大学出版会)を題材として取り上げています。著者の一人である竹中佳彦教授(筑波大学人文社会系)が、データに基づいてアベノミクスなど安倍政権の進める政策と選挙行動などについて、開成中学校・高等学校(東京都)の生徒とともに分析・対話しました。



学問本オーサービジットとは

学問本オーサービジットとは、学問の本の著者(オーサー)が、学校の図書室などへ訪問(ビジット)し、読者と自由に語り合うという取り組みです。いわゆる出前授業とは異なり、本を通じて、受験などでは出会えない学問のワクワク感を知ってもらうためのもので、クラス・部活等のメンバーや、気の合う仲間などのグループ単位で参加できます。

本取り組みは、中・高校生を対象に筑波大学人文社会系の教員が執筆した書籍を元に実施されました。
(『みらいぶプラス』による実施案内 <http://goo.gl/MMtNcG>)

本取り組みの成果

本取り組みは、筑波大学としては社会貢献活動であると同時に、本学の教育研究活動の一端を広く、そしてより深く知っていただく場としても有用と考えられます。大学における人文社会学(いわゆる文系)の意義が議論される一方で、こういった分野の学問の広がりや先端研究が一般向けに紹介される機会が少ないことは、大学が抱える課題のひとつです。各学校に訪問する著者としての研究者にとって、次世代を担う若者に自らの著作を熟読してもらい、彼らと率直に議論できることは刺激的であり、さらなる教育研究活動や積極的な成果発信への糧になっています。

また、大学と、大学受験予備校であり民間教育機関の進める新しい情報サイトが連携した本取り組みは、高校教育の改革の動きが活発化する中で、その流れを先取りし、踏み込んだ高大接続のあり方への提案にもつながるものです。これにより、活字離れが指摘される中で中高生の読書に対する興味・関心の向上を図るとともに、進路選択や将来設計を考え、社会や世界に向けた視野を広げる場としても大いに役立つものと期待されます。

そして現に、オーサービジットは、参加した中高生の意識にも効果をもたらすことがわかりました。今回、サイトで紹介している開成中学校・高等学校の生徒たちは、まだまだ抽象的でよくわからないと捉えられがちな政治やイデオロギーについて、実際に著者と語り合う中で、政治学が科学的で計量可能な学問であることや、実際に「イデオロギー」を計量的に分析することにより、有権者の行動や意識を把握できることがわかり、政治や政治学を身近なものとして関心を抱くように変化していく様子がうかがわれました。

今後の公開予定

【社会学】『みんなで決めた「安心」のかたち～ポスト3・11「地産地消」をさがした柏の一年』(亜紀書房)

東日本大震災による原発事故による風評被害を受けている柏市の農家と消費者がつながり、地産地消を目指そうとした実践を、社会運動論として本書で紹介した五十嵐泰正准教授が、被災地への修学旅行を予定している神奈川県立多摩高等学校に訪問しました。

【哲学】『ウイットゲンシュタインはこう考えたー哲学的思考の全軌跡』(講談社)

20世紀最大の哲学者で、言語哲学、論理学、情報科学の基礎を築いたとされるウイットゲンシュタインの思考の変遷を描いた本書の著者である鬼界彰夫教授が、六甲学院高等学校(兵庫県)に訪問しました。

【その他】

○ 土井隆義教授 『つながりを煽られる子どもたち』(岩波書店)

知徳高校<静岡>、羽衣学園高校<大阪>。ネットモラルやLINEの問題についての討論、教科情報での活用も。

○ 山中弘教授 『世界は宗教とこうしてつきあっている』(弘文堂)

関西大倉高校<大阪>。世界の多くの国では義務教育でも学ばれている宗教を考えた。

○ 五十嵐沙千子准教授 『生命倫理入門』(世界思想社教学社)

大妻高校<東京>、岩手県立大野高校など。倫理の授業をアクティブラーニングと哲学カフェで体験。

○ 伊藤益教授 『親鸞～悪の思想』(集英社)

栃木県立宇都宮高校。今の高校生にとっての悪人正機説を考える。 など。

みらいぶプラスとは

河合塾が運営する、私たちの身近にある本・メディアと学問をつないで紹介するウェブサイトです。理系・文系を超えた多彩な学問と関連する書籍をその道の研究者が紹介します。単なる学問紹介サイトでも、ブックガイドでもない、これからの未来を支える高校生を応援するサイトです。(http://www.milive-plus.net/)

今回公開したオーサービジットは、本年6月に施行された18歳選挙権について行った特集「18歳、選挙に行こう！みんなで社会をつくろう！」の中の目玉として実施しました。

問い合わせ先

河合塾 経営戦略担当(広報担当)

E-mail: press@kawaijuku.jp

【東京駐在】 友安・岩井・佐藤 Tel: 03-6811-5508

【名古屋駐在】 繁岡 Tel: 052-735-1474

筑波大学 広報室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp

Tel: 029-853-2039